



加茂
徳島市広報
加茂

加茂コミュニティ協議会
加茂公民館
TEL088-632-1024
088-632-7699
FAX 兼用

加茂地区の人口
20,485人
世帯数 9,664世帯
(令和6年1月1日現在)



祝 二十歳を祝う会：令和6年1月7日(日)

参加者106名

武道では「心・技・体」という言葉があります。「心」はこころ、「技」は技術、「体」はからだのこと

武道では「心・技・体」という言葉があります。「心」はこころ、「技」は技術、「体」はからだのこと



記念品贈呈 代表 堺 ひなた 様

私は現在、地元徳島で学生生活を送っていますが今回集まった仲間の中には県外で暮らしている人や、すでに就職して働いている人もいます。幼少期に送ってきた学生生活とはまた違い各自自分自身が責任を負う場面が増えてきたことで、これまでさまざまな方たちに助けられながら生きてきたということを改めて実感します。二十歳になった今それぞ

れ立場は異なりますが、これからは周りの人々を助ける側になれるよう、一人の大人として自分の行動すべてに責任をもてるよう心がけていきます。



謝辞 代表 齋藤 新生 様

場を借りて深く感謝を申し上げます。私たちが今日という日を迎えるまでにさまざまなことがありました。数年前に新型コロナウイルス感染症がまん延し、マスクを手放すことができないなど不慣れた生活が続いていましたが、現在は徐々に緩和されかつての日常を取り戻しつつあります。しかしそのような明るい希望が見えた矢先、今年に入つてすぐに大規模な地震や大きな事故があり今もなお苦しんでいる人が多くいることに心を痛めています。そんな大変な状況の中で、かつてこの徳島でもにも育ってきた仲間たちとこの式に参加させていただいたことを非常に嬉しく思います。

今日は、私たちのためにこのような「二十歳を祝う会」を開催していただき誠にありがとうございます。私たちの新たな門出となるこの式のお祝いや激励の言葉を贈っていただいたご来賓の皆様へ二十歳を代表して心より御礼を申し上げます。また、私たちが無事に二十歳を迎えられるようにやさしく、時に厳しく育ててくださった家族、先生方、そして地域の方々へこの

謝辞

代表 齋藤 新生

ですが、心を磨き、技術を身に付け、体を鍛えることで物事を成し遂げることができるとい意味があります。これから生きていく上で、私たちの前に大きな壁が立ち塞がることもあるでしょう。そのような時でも自力で乗り越えられる力をつけるために「心・技・体」を磨き、お世話になった方々や社会に貢献できる人間になれるよう精進していきたいと思えます。皆様には今後とも温かく見守っていただければ幸いです。

簡単ではございますが以上で代表あいさつとさせていただきます。本日はありがとうございます。

◎受賞おめでとうございます。

学習に精励し、教室、学級運営にご尽力された方へ

徳島市ふれあい教室表彰

地紙 他佳子 様



徳島市すくらむ学級表彰

井内 文恵 様



令和五年度 徳島市民憲章実践協力者感謝状

大貝 圭人 様



受賞おめでとうございます

令和五年度受賞者

社会福祉およびボランティア功労者厚生労働大臣表彰

(共同募金) 阿部 靖司 様

防災功労者内閣総理大臣表彰 加茂地区自主防災連合会

徳島市民憲章実践協力者感謝状 大貝 圭人 様

徳島市地域貢献高齢者表彰 中井 文明 様

徳島市ふれあい教室表彰 地紙 他佳子様

徳島市すくらむ学級表彰 井内 文恵 様

徳島県社会福祉協議会会長表彰 小田 恵子 様

防犯功労者表彰 宮崎 千代子様

徳島市自主防災活動感謝状 徳野 正彦 様

四国地方更生保護女性連盟会長表彰 小手川詔三 様

第五十二回徳島市高齢者文化祭作品展 祖父江理佳 様

議長賞 工芸の部 吉成 照子 様

日本赤十字社業務功労表彰 高田 昌子 様

金色有功章 鈴江 俊子 様

銀色有功章 尾崎 理恵 様

支部長感謝状(金枠) 竹内 礼子 様

支部長感謝状(銀枠) 古村 和子 様

支部長感謝状(銀枠) 本庄 真知子様

〃 中西 和美 様

〃 吉成 照子 様

〃 砂山 浅子 様

〃 森 美佳 様

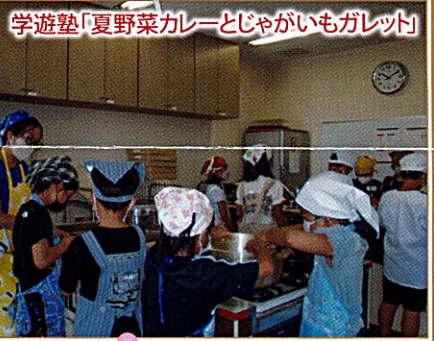
〃 太田フジ子 様

〃 花本 一生 様

徳島市消防団徳島市長表彰

(順不同)

ふれあい教室



すくらむ学級

すくらむ学級 合同人権講座

人権コンサート 「しわしわいかんで」

令和6年2月1日(木)、加茂コミュニティセンターで「サーティグラスボーイズ」のみなさまをお招きし、人権コンサートを開催いたしました。1945年、アメリカで生まれた新しい音楽のスタイル「ブルークラス」の演奏を通じて人権意識を高め、考える「人権グラス」を体験いたしました。「みんなちがってみんないい」人権問題を自分の問題としてとらえ、今身近にいる人たちに優しく、大切にしたいこうとあらためてきづかされました。



学遊塾

Vida! 加茂主催 「れんげ畑で遊びましょう」 宮崎農園



加茂長寿会連合会
会長
谷本林三郎

就任あいさつ

地域の皆様方には、日頃より加茂長寿会連合会「東田宮長寿会・田宮長寿会・春日長寿会・矢三長寿会」の活動等にご理解とご協力ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年五月から地域のレジエント山田前会長より引継ぎ加茂長寿会連合会長を務めております。宜しくお願ひ申し上げます。

超高齢者社会を迎え高齢者が健康で楽しく人生百年時代に向けて暮らしていくには、元気で自立し、お互いに支え合い、培ってきた経験や知識を豊かな住みよい地域づくりに生かす高齢者の活躍の場である持続可能な長寿会の立ち位置がとて大切で。

しかし現在の長寿会は会員が減少傾向であります。会員増強には、是非とも地域の皆様方の力添えが不可欠です。ご支援のほどよろしくお願ひします。

本年四月より新しく加茂コミュニティ協議会の発足が予定されております。長寿会連合会も組織の一員として連携し活動の予定で。その会則に高齢者の生きがいづくりの推進があります。長寿会としても、協議会よりご支援を受けながら活躍の場を拡げるとともに、会員増強に努めれば幸いかと思っております。これからも地域の皆様方のご支援ご協力のほどよろしくお願ひします。



加茂地区町内会連合会
会長
加渡 義治

就任あいさつ

北三町2丁目宮ノ本町内会会長 加渡義治です。

今年度、町内の各行事が活発に開催されたのも、町内のみならず、長年ご尽力されてきた取り組みへの熱意と努力の賜物と思っております。

地域の子どもたちを支える青パトによる道中で、子どもたちが笑顔で手を振ってくれる姿には心温まるものがあります。夏まつりでは、ダンス、花火大会、屋台での飲食等、明るい笑顔に包まれていました。文化祭においては、保幼小中高の学習活動、町内の方々の文化活動の成果が十分に発揮される場となりました。敬老会、全町運動会、福祉餅つき、二十歳を祝う会等においても、みなさんへのおもてなしが満ち溢れていました。

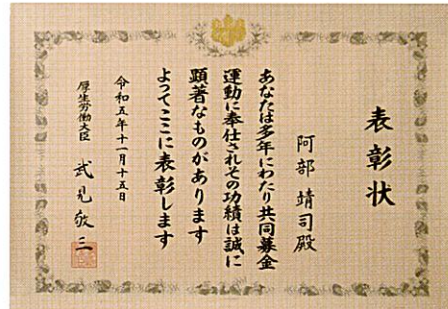
本年初めの能登半島地震では、甚大な被害をもたらした。今なお厳しい避難生活を余儀なくされています。しかし、被災地の方が一体となつて、多くの方々の支援とともに復旧に向けて取り組んでいます。

加茂コミュニティ協議会を中心として、誰ひとり取り残さない「インクルーシブ防災」の実現に向けて、真摯に取り組んでいくことが必要です。微力ではございますが、尽力したいと思っております。よろしくお願ひします。



加茂地区社会福祉協議会 会長 阿部靖司様 受賞おめでとうございます

加茂地区社会福祉協議会会長の阿部靖司様が令和五年十一月十五日に「社会福祉およびボランティア功労者厚生労働大臣表彰（共同募金）」を受賞されました。



内閣総理大臣賞を受賞して

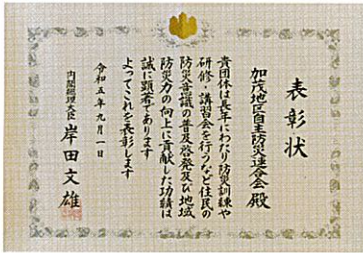
加茂地区自主防災連合会会長 小手川 詔三

令和5年度加茂地区自主防災会連合会は、地道な防災活動が認められ内閣総理大臣賞を頂くことが出来ました。これはひとえに平成10年結成以来の自主防災連合会、町内会の皆様方のご協力の賜であると思っております。

今年の1月1日に発生した能登半島地震では、復興に数年かかり目途がたないままでいられるくらい大きな被害を受けております。徳島県では南海トラフ大地震が近いうちには必ずくると言われています。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震での教訓を活かし、平時の訓練や講話に取り入れたいと考えています。

受賞履歴

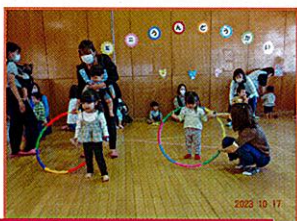
- 一 平成十九年 徳島県知事賞
- 二 令和元年 防災担当大臣賞
- 三 令和五年 徳島市長賞
- 四 令和五年 内閣総理大臣賞



加茂児童館だより



ちびっこ運動会



新聞作りに挑戦(徳島新聞社記者さんをお迎えして)



乳幼児たなぼた祭り



収穫したポップコーンとうもろこしでチョコポップコーンを作りました。



バレンタイン工作
自分で作った箱に入れて持ち帰りました。



加茂文化祭出品作品



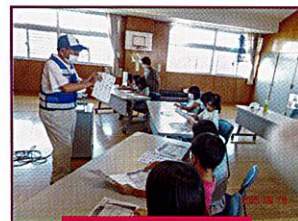
児童館夏祭り



児童館
クリスマス大会



乳幼児クリスマス会



津波・避難訓練

キッズファームでの活動



収穫体験



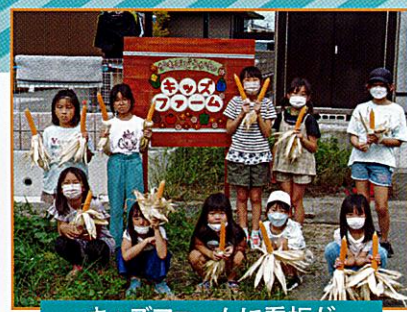
苗の植え付け体験



さつまいもの収穫体験



ジャガイモ掘り



キッズファームに看板が

加茂公民館と加茂コミュニティ協議会の統合

加茂公民館館長 宮崎 忠司
加茂コミュニティ協議会会長

加茂公民館は令和6年3月31日に73年間の幕を閉じることになりました。長年加茂公民館が担ってきた加茂地区の社会教育・生涯学習の拠点が、同年4月1日より加茂コミュニティ協議会に移行することになります。いわゆる、「加茂公民館と加茂コミュニティ協議会の統合」であります。

これは、令和2年に徳島市より出された指針「これからの地域における生涯学習拠点」に基づいたものであり、令和4年4月から徳島市内の公民館は、地域の実情に応じて順次コミュニティ協議会との統合が進められることになっております。加茂地区の統合は本年4月1日となります。

さて、加茂公民館を閉じるにあたり、その歴史的経緯や社会教育・生涯学習拠点としての役割を振り返ってみたいと思います。昭和24年6月施行された国の社会教育法に沿い、昭和25年4月には、加茂公民館が千松小学校内に設置され、校長が館長を、教頭が主事を兼任し、戦後の民主化を担う社会教育の拠点として産声を上げました。昭和34年7月には、加茂公民館は旧加茂村(のちの加茂町)役場跡に加茂支所併設館として移転し、昭和54年3月には鉄筋二階建に改築され、館長には地域の有識者が、主事は支所長が兼任してまいりました。さらに、昭和47年9月には専任の公民館主事が配置され公民館活動の充実が図られました。当時設置の加茂公民館運営審議会が主体となり、成人式、婦人学級、高齢者教室、婦人ボランティアによる児童図書貸し出し、加茂の夏まつり、敬老会、さらに、公民館施設を開放し住民集会その他の公共利用に供する

等の住民による住民のための社会教育活動等が始まりました。その取り組みは、現在の公民館活動等に受け継がれております。平成11年11月には、加茂公民館、加茂支所及び加茂児童館併設の加茂コミュニティセンター(以下、センターという)が竣工しました。平成17年4月には、指定管理者制度が導入され、センターの管理運営は加茂コミュニティ協議会が担うことになりました。折しも、平成18年の「改正教育基本法」施行により、これまで取り組んできた社会教育のさらなる充実を図るために、学校、家庭及び地域社会が相互の連携協力した生涯学習の推進が求められるようになり、以上のように、社会教育から生涯学習体系への移行を受けた加茂コミュニティ協議会は、各種事業をとおして加茂地区住民の主体的参加を促し、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を踏まえた生涯学習の取り組みを二層充実させる必要があります。

平成6年4月1日より、生涯学習拠点を担うこととなる加茂コミュニティ協議会では、次の生涯学習事業に取り組みたいと考えております。具体的には、①子どもの健全育成、②高齢者の生きがいづくり、③活力あふれるまちづくり、④地域防災の4点であります。

加茂地区住民の皆さまにおかれましては、長年加茂公民館に寄せていただきました御支援御協力に感謝申し上げます。引き続き加茂コミュニティ協議会の各種生涯学習事業に御参画並びに御協力くださるようお願い申し上げます。

令和6年3月31日 加茂公民館 閉館

加茂公民館の沿革

- 昭和25年4月 千松小学校内に設置、校長が館長を教頭が主事を兼任していた。
【公民館長 仁科 義之】
- 昭和29年 【公民館長 桑田 輝男】
- 昭和34年7月 加茂公民館、徳島市北田宮4丁目1-7に新築移転、支所と併設
【公民館長 森 晃治】
- 昭和46年 【公民館長 高島 正巳】
- 昭和54年3月 加茂公民館、老朽化のため改築、建物面積が2倍となる。
- 昭和57年 【公民館長 森 義雄】
- 昭和60年 【公民館長 森 経夫】
- 平成2年 【公民館長 本庄 正夫】
- 平成5年 加茂コミュニティ協議会設立
- 平成10年10月 加茂コミュニティセンター現在地
徳島市北田宮4丁目6-60に建設、起工式
- 平成11年11月 加茂コミュニティセンター落成式加茂公民館、
加茂コミュニティセンター内に移転
- 平成12年4月 【公民館長 宮崎 信樹】
- 平成22年5月 【公民館長 大栗 敏治】
- 平成29年4月 【公民館長 高島 稔之】
- 令和2年4月 【公民館長 宮崎 忠司】
- 令和6年3月31日 加茂公民館 閉館



加茂公民館主事

※〈 〉内は在任期間

- 朝 日 佐 武 〈昭和33年～昭和34年7月〉千松小学校教頭が兼任
- 鈴木 貞 次 〈昭和34年～昭和35年12月〉加茂支所長が兼任
- 礎 実 〈昭和35年12月～昭和38年2月〉 //
- 村 崎 輝 信 〈昭和38年2月～昭和39年6月〉 //
- 島 田 治 雄 〈昭和39年7月～昭和42年3月〉 //
- 村 本 一 馬 〈昭和42年4月～昭和44年1月〉 //
- 柳 沢 久 俊 〈昭和43年5月～昭和47年7月〉加茂支所主事が兼任
- 那賀川 正 夫 〈昭和44年1月～4月〉加茂支所長が兼任
- 山 口 叡 〈昭和44年4月～昭和48年5月〉 //
- 白 鷹 弘 一 〈昭和47年9月～昭和55年3月〉 //
- 斎 藤 幸 夫 〈昭和55年4月～平成3年〉 //
- 長 江 勝 〈平成6年～平成7年〉 //
- 野 口 治 實 〈平成8年～平成10年〉 //
- 太 田 恵 美 子 〈平成11年～平成24年〉 //
- 福 岡 俊 和 〈平成25年～平成28年1月〉 //
- 瀬 尾 桂 子 〈平成28年2月～令和6年3月〉 //

